



おいしく たのしく すこやかに



森永製菓株式会社 NEWS RELEASE

2024年10月16日

企業理念と地域共創を具現化した環境共創型オフィス

「森永芝浦ビル」

2024年度グッドデザイン賞 受賞

森永製菓株式会社（東京都港区芝浦、代表取締役社長・太田 栄二郎）は、2024年3月に新設した「森永芝浦ビル」が、2024年度グッドデザイン賞（主催：公益財団法人日本デザイン振興会）を受賞したことをお知らせいたします。



GOOD DESIGN AWARD
2024年度受賞

当社は2030年のありたい姿として2030ビジョンを定め、「心の健康」「体の健康」「環境の健康」という3つの提供価値を、「顧客」「従業員」「社会」に提供し続け、持続可能で豊かな社会の実現に貢献する「ウェルネスカンパニーへ生まれ変わる」と宣言しました。

2024年3月に新設した「森永芝浦ビル」では、心と体そして環境の健康の実現拠点として、「カクハンノモリ」を建築コンセプトに、多様な生態系が共生する「森」のように、自然のゆらぎを享受しながら、様々な活動が混ざり合う環境共創型オフィスを目指しました。コロナ禍を経て、リアルオフィスの価値が問われる中で、社内外、そして地域のあらゆるステークホルダーが好きな場所を見つけて過ごしなが、関わり混ざり合うことで、知見を拡範し、創造した実りを拡販しながら、様々な体験を生む、オフィスを目指しています。また、「森永芝浦ビル」は、実質的なCO2排出量をゼロに抑え、環境に配慮したオフィスであることも特長です。

■ 審査員の評価

企業理念と地域共創を具現化した環境共創型オフィス。鏡面グリッドフレームの採用により、建物が周辺環境と調和し、まちに新たな風景を提供している点が評価できる。さらに、創業者縁の杉材を内外装に活用することで、精神的な健康を意識した温かみのある空間を創出し、企業の歴史と持続可能な未来を繋げている。地域の生態系や社会課題への取り組みを通じて、人と社会の健康を目指す「ウェルネスカンパニー」としてのビジョンを建築に反映している点が優れている。

■グッドデザイン賞とは

1955年創設のグッドデザイン商品選定制度を継承する、日本を代表するデザインの評価とプロモーションの活動です。国内外の多くの企業や団体が参加する世界的なデザイン賞として、暮らしの質の向上を図るとともに、社会の課題やテーマの解決にデザインを活かすことを目的に、毎年実施されています。受賞のシンボルである「Gマーク」は優れたデザインの象徴として広く親しまれています。

<https://www.g-mark.org/>